

「道徳の時間における資料をどのように活用したらよいか」

- ・おもな研究内容
 - ・道徳教育の全体計画および年間指導計画の改善
 - ・資料はどのような観点にたつて選択したらよいか。
 - ・指導のねらいと指導の段階に即して、どのような資料を、どのように活用したらよいか。
 - ・資料の分析と再構成をどのようにしたらよいか。
 - ・資料の整備と管理をどうしたらよいか。

エ. 鹿島町立鹿島中学校 (校長 佐藤義雄)

- ・研究主題
「道徳的実践力をたかめ、実践化をはかるには、どのように指導したらよいか」
- ・おもな研究内容
 - ・生徒の生活の実態にもとづき、道徳教育の全体計画を検討し改善する。
 - ・生徒の生活の実態をふまえて、道徳の時間の主題を設定し、年間指導計画をたてる。
 - ・各領域との関連をよく検討し、実践化をはかるための指導のすすめかたを探究する。
 - ・授業研究を通して、実践化をはかるための指導過程を研究する。

② 研究学校中間発表会

上記研究学校4校が、1年間の研究成果をまとめて共同の中間発表会を開催し、約350名の会員が参加して、充実した研究協議が行なわれ、本県の道徳教育の進展に大きな貢献をした。

- ・期日 昭和41年2月23日(水)
- ・会場 会津若松市立城北小学校
- ・研究主題

「道徳教育の全体計画をどのように立案したらよいか」

- ・講師 文部省教科調査官 青木孝頼

・研究発表の内容

- ・道徳教育の全体計画の立案について 鹿島中
- ・道徳教育目標の樹立と主題設定について 三河台小
- ・指導過程の構成とその指導について 城北小
- ・道徳の時間における資料の活用について 須賀川三中

・分科会

- ・小一年 節度・節制をどう指導したらよいか。
- ・小二年 公共心・公德心をどう指導したらよいか。
- ・小三年 家庭愛をどう指導したらよいか。
- ・小四年 不とう不屈をどう指導したらよいか。
- ・小五年 愛国心をどう指導したらよいか。
- ・小六年 愛国心をどう指導したらよいか。
- ・中学校 読みもの資料をどう活用したらよいか。

か。

(7) 高等学校社会科倫理・社会講座への参加

- ① 期日 昭和40年9月13日～9月18日まで
- ② 会場 国立教育会館
- ③ 参加者 本県からは4名の高等学校教諭、指導主事等が参加し受講した。

2 生徒指導

近来「生徒指導」に対する関心が高まり、しだいに充実してきているが、なお次の諸点についていっそう努力の必要があるように思われる。

- ① 生徒指導についての熱意や共通理解を高めること。
- ② 校内における生徒指導の組織を整え、適切な運営をはかること。
- ③ 生徒指導のための指導計画を充実すること。
- ④ 生徒指導の方法、技術の向上をはかること。
- ⑤ 青少年健全育成、保護育成の諸機関、諸団体との連絡協力に関する体制を確立すること。

これらの現状を改善し、生徒指導を正しい軌道にのせるため、昭和40年度県教育委員会努力目標の第2

「道徳教育、生徒指導の徹底をはかり、健全な児童生徒の育成につとめる。」に基づき、次の各事項について実施した。

(1) 生徒指導主事の活動

県下5地区に次の生徒指導主事を設置し、それぞれの地区において、学校訪問、講習会開催、地区生活指導協議会の指導、個別相談等により、生徒指導にあたった。

① 任 務

高等学校ならびに中学校における生徒指導の改善向上を期するため、生徒指導について指導助言を行ない小学校およびその他についても要請に応じ指導助言する。

② 生徒指導主事一覧

地 区	設 置 学 校	生 徒 指 導 主 事	備 考
県北地区	県立福島西女子高校	石川 進	(9月30日まで) (10月1日以降)
県南地区	" 安積女子高校	松山六郎	
"	" 郡山商業高校	小島喜一	
会津地区	" 会津高校	小野 尚	
石城地区	" 内郷高校	成田政栄	
相双地区	" 相馬農業高校	立花正敏	

(2) 文部省指定生徒指導研究推進校の研究と実践

文部省の指定による生徒指導研究推進校は、それぞれ熱心に研究にとりくみ、すぐれた実績を取めた。

① 郡山市立行健中学校

- ・指定 昭和39年度から、
- ・研究主題 生徒指導における学級指導と教育相談
- ・研究発表会 昭和40年11月2日

② 福島県立内郷高等学校

- ・指定 昭和39年度から
- ・研究主題 教育相談とホームルーム経営とを主